

# 仲道郁代 新鋭 N 響首席チェリスト 辻本玲とパリのエスプリ



Steinway & Sons  
Patent Grand  
New York & Hamburg

2022 11/15(火) 紀尾井ホール 19:00 開演 (18:00 開場)

全席指定(税込)

S 席 6,800 円 A 席 5,500 円 B 席 4,000 円

チケット発売日

先行発売 2022 7/10(日) 一般発売 2022 7/20(水)

 紀尾井ホール 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 6 番 5 号  
03-5276-4500 <https://kioihall.jp/>

## Program

- 第 1 部** 1906年製華麗なる音色のスタインウェイでのピアノソロ  
ショパン：ワルツ第1番「華麗なる大円舞曲」Op.18  
ショパン：3つのノクターン Op.9-1.2.3  
ショパン：アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ Op.22
- 第 2 部** 1906年製スタインウェイとチェロの二重奏  
フランク：チェロ・ソナタ ※曲目、曲順は変更になる場合がございます

## チケットのお申し込み・お問合せ

- ・公益財団法人文化科学教育研究会 03-6435-3874 mail:bunkakagaku@imanage.co.jp
- ・イープラス <https://eplus.jp/> ・チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (P コード：220-373) →
- ・チケットスペース 03-3234-9999 [チケットスペースオンライン](#) [検索](#)



# Profile

## Piano 仲道 郁代



桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ミュンヘン国立音楽大学に留学。ジュネーブ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位メンデルスゾーン賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。88年に村松賞、93年にモービル音楽奨励賞を受賞。古典派からロマン派まで幅広いレパートリーを持ち、日本の主要オーケストラはもとより、海外のオーケストラとの共演も数多く、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして活動している。これまでにサラステ指揮フィンランド放送交響楽団、マゼール指揮ピッツバーグ交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団と共演。99年にはカーネギーホールでリサイタル・デビュー、2001年にはサンクトペテルブルグ、ベルリンでコンチェルト・デビュー。05年には、英国チャールズ皇太子夫妻ご臨席のもとウィンザー城で行われたイギリス室内管弦楽団(ECO)主催の「結婚祝祭コンサート」に出演。室内楽ではストルツマン、ハーゲン弦楽四重奏団、ブランディス弦楽四重奏団、ベルリン・フィル八重奏団、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団等と日本ツアーを行った。CDはソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成～ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」や、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」、「シューマン：ファンタジー」、「ドビュッシーの見たもの」など多数リリースしている。著作には『ピアノの名器と名曲』『ショパン鍵盤のミステリー』『ベートーヴェン鍵盤の宇宙』(ナツメ社)、『ピアニストはおもしろい』(春秋社)等がある。2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」をスタートし、春と秋にリサイタルシリーズを展開中。一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。 オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com>

## Cello 辻本 玲



7歳よりチェロを始める。11歳まで米国フィラデルフィアで過ごし、東京藝術大学音楽学部器楽科を首席で卒業(アカンサス音楽賞受賞)。その後ロームミュージックファンデーションより奨学金を得て、シベリウス・アカデミー(フィンランド)、ベルン芸術大学(スイス)に留学。2003年、第72回日本音楽コンクール第2位、併せて「聴衆賞」受賞。2007年度青山音楽賞新人賞受賞。2006年、2007年、ヴァイオリニスト五嶋みどり氏が主催する「Community Engagement Program」に参加し、世界各地で共演。2009年、第2回ガスパール・カサド国際チェロ・コンクール第3位入賞(日本人最高位)、併せて「日本人作品最優秀演奏賞」を受賞。2011年にサントリーホール他5大都市でデビュー・リサイタルを開催。2013年、第12回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。ソロ活動と並行して、サイトウ・キネン・オーケストラやアルカス佐佐保のレジデンス・カルテットの一人として活動するほか、チェロ四重奏団「カルテット・エクスプローチェ」及川浩治トリオBe e「ひばり弦楽四重奏団」などの室内楽にも多数参加。2016年に別府アルゲリッチ音楽祭にてワディム・レーピンと共演するなど実力派チェリストとして高い評価を得ている。2019年にソロCD『オブリヴィオン』をリリースし「レコード芸術」誌にて特選盤に選出。日本フィルハーモニー交響楽団ソロ・チェロ奏者を経て、現在はNHK交響楽団首席チェロ奏者を務める。これまでに、NHK交響楽団、東京交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、日本センチュリー交響楽団、ロシア国立交響楽団、ベルリン交響楽団等と共演。メタ・ワッツ、オーランド・コール、川元適益、上村昇、山崎伸子、アルト・ノラス、アントニオ・メネセスの各氏に師事。使用楽器はNPO法人イエロー・エンジェルより1730年製作のアントニオ・ストラディヴァリウスを、弓は匿名のコレクターよりTourteを、特別に貸与されている。 公式サイト <http://www.rei-tsujimoto.com>

## パリで発掘された1906年製 ハンブルグ・スタインウェイ D-274

今回のコンサートで使用するピアノは、パリで発掘された1906年製のハンブルグ・スタインウェイ D-274 コンサートグランドピアノである。国内で注目されるヴィンテージ・スタインウェイのコンサートモデル D-274 は主にニューヨーク製だが、今回のピアノはハンブルグ製である。ニューヨーク製のスタインウェイは、二度の世界大戦で被害を受けなかったため数多く残っているのに対し、ハンブルグ製は、二度ともドイツが敗戦国となったため、甚大な被害を受け圧倒的に稀少。

中でも20世紀初頭に当たる1906年に製造されたフルコンサートピアノで、今回お披露目するローズウッド材の外装を持つものは極めて少なく、今回このピアノが、パリにてほぼオリジナルの状態で見つかったことは奇跡的である。

多くの伝説的巨匠達が活躍した19世紀末から20世紀初頭は、一般に黄金時代と呼ばれ、最高の材料を豊富に使用してきた環境のもとで数多くの名器が生み出された。ピアノの音色には時代によって趣向があると言われている。現代では数千人規模のホールで演奏される機会が多いこともあり、ホールの隅々に行き渡る輝かしいサウンドが要求される一方、1900年代当時のピアノは千変万化する多彩な音色とニュアンスと深い響きを備えており、今回お披露目するピアノは更に熟成されて大変魅力的な音色を持っている。

外装に贅沢に用いられた最上級のローズウッド材は、現在は枯渇や環境変化等で極めて調達困難であり、脚やペダル部分や譜面台に施された華麗な装飾と共に、正に「世界的名器」の名に相応しいといえる。

## 公益財団法人文化科学教育研究会のご紹介

【設立目的と沿革】昭和26年4月、故下泉重吉理化学博士により文部科学省許可のもと設立。(現在は内閣府管轄)科学教育・文化教育に関する基礎的研究、調査及び環境保護活動、文化普及活動を行い、併せて学校並びに社会における科学教育・文化教育の向上発展、環境保護に寄与することを目的としています。2017年11月、内閣総理大臣認定のもと、コンサート事業をスタートさせました。

### 【コンサート事業について】

#### ●事業コンセプト

- ・広くクラシック音楽の普及活動を行い、地域社会における文化教育向上に寄与します。
- ・若手音楽家へ演奏機会を提供し、サポート・育成します。(本コンサートはその活動です。)

#### ●開催履歴

- ・2017年12月 於、サントリーホール (主催)『1906年製スタインウェイお披露目コンサート』
- ・2018年8月 於、浜離宮朝日ホール (主催)『Summer Time Concert』
- ・2018年12月 於、Tホールアフィニス (主催)『1906年製スタインウェイの魅力堪能する3日間』
- ・2019年3月 於、紀尾井ホール (主催)『華麗なヴィルトオーソ達の奏でた黄金時代の音が、再び、蘇る!』
- ・2019年10月 於、王子ホール (主催)『仮面舞踏会ハイライト』
- ・2019年11月 於、王子ホール (主催)『高橋優介野村彩乃コンサート』『岩井のぞみピアノコンサート』
- ・2019年12月 於、紀尾井ホール (主催)『1906年製スタインウェイ仲道郁代が奏でるショパン!』
- ・2021年1月 於、紀尾井ホール (主催)『華麗なヴィルトオーソ達の奏でた黄金時代の音が、今、蘇る! vol.3』
- ・2022年5月 於、王子ホール (主催)『華麗なヴィルトオーソ達の奏でた黄金時代の音が、今、蘇る! vol.4』

#### ●特色

パリで発掘された1906年製ハンブルグ・スタインウェイ D-274 を使用しています。欧州に於いて二度の大戦を生き延びた歴史的・文化的な価値に加え、現代のスタインウェイとは異なる魅力を持つ音色、古楽器の魅力を多くの方に感じて頂く機会をつくり、文化芸術の発展に寄与します。

#### 【寄付金について】

当財団の公益目的事業は、主に会員の方々からの会費および事業収入により運営しています。当財団の事業活動にご理解とご賛同を頂き、是非ご寄附をお寄せくださいますようお願い申し上げます。皆様からご預かり致します寄附金は、当財団の「寄附金等取扱規程」に則り、有効に使用させていただきます。